

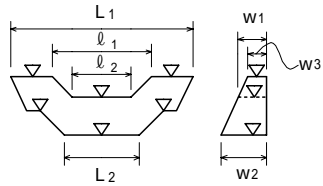
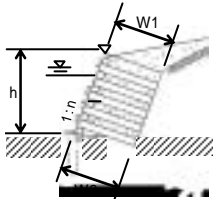
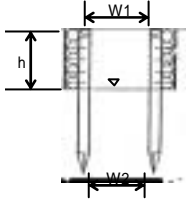
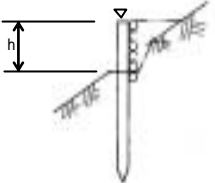
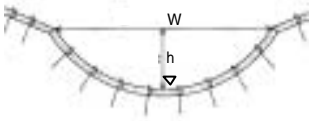
出来形管理基準及び規格値 第27編 治山編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
27 治山編	1 治山ダム	5 木製ダム工	3		木製ダム本体工	基準高	± 50
						天端部 堤幅 w_1, w_3 w_2	- 50
						水通しの幅 l_1, l_2	± 50
						堤長 L_1, L_2	- 100
						勾配 (設計勾配に対し)	± 0.5 分
27 治山編	2 護岸、 流路	3 護岸工	6		木製護岸工	基準高(設定した場合)	± 100
						高さ h	± 100
						幅 w_1, w_2	- 200
						法勾配 n	± 0.5 分
						延長 L	- 200
27 治山編	2 護岸、 流路	4 流路工	6		木製流路工	基準高(設定した場合)	± 100
						高さ h	± 100
						幅 w_1, w_2	- 200
						延長 L	- 200
27 治山編	3 山腹	4 緑化工	2		柵工	基準高(設定した場合)	± 100
						高さ h	± 100
						延長 L	- 200
27 治山編	3 山腹	9 水路工	2		張芝水路工	基準高(設定した場合)	± 100
						高さ h	± 100
						幅 w	± 100
						延長 L	- 200

: 出来形管理図表を作成する。

: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位: mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の表示箇所		
施工延長 40mにつき1箇所、延長 40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
1 施工箇所毎		
施工延長 40mにつき1箇所、延長 40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
1 施工箇所毎		
施工延長 40mにつき1箇所、延長 40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
1 施工箇所毎		
施工延長 40mにつき1箇所、延長 40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
1 施工箇所毎		

出来形管理基準及び規格値 第27編 治山編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
27 治山編	3 山腹	15 植栽工	2		植栽工	団地面積 A	- 3%
						団地内植栽本数 N	- 0%
						管理地内植栽本数	- 15%
27 治山編	3 山腹	15 植栽工	3		追肥工	団地面積 A	- 3%
27 治山編	5 森林整備	2 誘導工 育成 複層林	2		本数調整伐工	団地面積 A	- 3%
						団地内伐採本数 N	- 0%
						管理地内伐採本数	N'の±20%
27 治山編	5 森林整備	2 誘導工 育成 複層林	3		枝落し工	団地面積 A	- 3%
						枝落し高 h	- 150
27 治山編	5 森林整備	3 造成工 育成 複層林	2		地拵え工	団地面積 A	- 3%
27 治山編	5 森林整備	5 保育工	7		雪起こし工	雪起こし本数 N	- 0%
27 治山編	5 森林整備	7 作業歩道工	2		作業歩道工	延長 L	- 2%
						幅 w	- 100

: 出来形管理図表を作成する。
: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位: mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
出来高平面図及び求積表へ朱書き併記する。 入荷伝票等で確認。		
1ヶ所/haの管理地(10m×20m)を設け植栽木を確認する。(植栽密度毎にも設定する。)		
出来高平面図及び求積表へ朱書き併記する。		
出来高平面図及び求積表へ朱書き併記する。 施工団地毎に伐採木全てに番号札を付すこと。	<p>○ 残存木 本 × 伐採木 本</p> <p>$N' = (\text{残存木} + \text{伐採木}) \times \text{所定伐採率}$</p>	
1ヶ所/haの管理地(10m×20m)を設け管理地拡大図を作成し伐採木、残存木を記入する。		
出来高平面図及び求積表へ朱書き併記する。		
1ヶ所/haの管理地(10m×10m)を設け施工木の枝落し高を記入する。		
出来高平面図及び求積表へ朱書き併記する。		
施工団地毎に雪起こし木全てに番号札を付すこと。		
1 施工箇所毎		
施工延長 100mにつき 1 箇所、延長 100m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		